

## 平成 30 年度 第 3 回評議員会（報告）

日 時 平成 31 年 2 月 19 日 16:00-17:00  
 場 所 100 周年記念会館集会室  
 参加者 学校評議員

	氏 名	役 職 等	推 薦 理 由	出席
1	小沢 里子	同窓会副会長	同窓会代表	○
2	加藤 敬一	赤穂中学校教頭	地元中学校	○
3	亀山 史子	元全日制 P T A 副会長	保護者代表	○
4	北原 和明	株式会社 北原商事	地元企業代表	○
5	小林 紀充	小町屋区区長	地元住民代表	○
6	西垣内 磨留美	長野県看護大学教授	地元大学関係者	
7	宮脇 三広	定時制振興会理事	定時制 O B	○

### 職 員

学校長	松村 明	生徒指導主任	原 登
全日制教頭	三輪 元子	生徒会担当	渡邊 玄
定時制教頭	堀内 雅司	3 学年主任	伊坪 一徳
事務長	土村 正和	2 学年主任	田中 誠一
教務主任	北沢 隆	1 学年主任	遠山 和夫
商業科主任	山口 功	教務（記録）	吉川 和文
進路指導主任	市瀬 裕一		

- 1 学校長より
  - 一年を振り返って  
 学校の様子（進路，卒業式など）  
 3 つの方針 生徒につけさせたい力の育成，教育課程，学び
- 2 学校の近況
  - (1) 教務
    - p. 4 の説明 総合評価、  
 p. 6～9 生徒・保護者アンケート報告（教頭より）
  - (2) 進路指導
    - p. 10 進路だよりより  
 進学状況 指定校推薦が多くなった。安全志向。  
 就職状況 求人が多く，年々就職者が増えている。  
 学校自己評価の進路指導について 来年は具体的策を考え，実践  
 をしていく段階になる。
  - (3) 生徒指導
    - 問題行動、事故、被害、等の報告  
 卒業式の服装について  
 ネット上のトラブルが心配になっている。
  - (4) 生徒会
    - p. 12～14 スローガン、活動報告、クラブ実績  
 けじめを大切にすることが来年度の特徴。  
 文化祭は 1 日短縮になったが，生徒が工夫して乗り切った。  
 クラブ活動は，弓道女子が全国大会出場など，盛んであった。
  - (5) 商業科
    - p. 15～19 商業科通信より  
 IT パスポート，やっちゃえ！赤穂プロジェクト について  
 実践・課題研究発表会，産業教育振興会での発表  
 各種の検定 今年は一級 3 種類以上が 23 名で，増えている。
  - (6) 学年
    - (1 年) 2020 年度入試に向けて，探究的な学習に取り組んで  
 いる。JICA などを中心に地域との連携を取って行っている。  
 来年度は，沖縄の修学旅行で，体験学習を行う。
    - (2 年) 修学旅行では全員参加できて一安心だった。

人間関係や SNS など、悩みを持つ生徒が増えている。  
「やっちゃえ赤穂！プロジェクト」の他に2学年が参加するボランティアには、普通科も参加して盛んに行われている。  
(3年) 卒業式まであと2日の登校日になった。進路未定者はあと7～8名。2～3名が国公立受験を希望している。皆勤賞が32名いて、授業を大切にしてきた。

- (7) 定時制の近況
- ① 進路について 10名全員が決定、8名が正社員で良好
  - ② 自己評価について
  - ③ 平和ゼミナールの新聞記事より 2名の生徒の活躍
  - ④ 生活体験発表最優秀賞について報告と支援について

### 3 評議員からのご意見・ご助言・質問

評議員氏名	助言等
小沢 里子 (同窓会副会長)	初めて評議員になり、学校の様子を知ることができた。勉強も大切であるし、思い出作りも大切で、両立できるように配慮していただきたい。授業に対する期待感が上がるとよい。
加藤 敬一 (赤穂中学校教頭)	主体的な協働的な学習を通して、コンピテンシーの育成をしてほしい。講義型の授業だけでなく、アクティブラーニング型の授業を取り入れたい。生徒が楽しい、わかる授業への授業改善を。それには生徒間の関りを持たせるとよい。90%の生徒が入学してよかったと答えているのは素晴らしい。赤穂高校は赤中にとって特別な存在。郷土愛が強い地域の学校である。「やっちゃえ！赤穂プロジェクト」は素晴らしいので、さらなる充実をお願いしたい。
亀山 史子 (元全日制PTA副会長)	PTAの役員をやらなければ知ることが出来なかった事を、知ることができた。今まで気が付かなかった赤穂高校生の活躍を、新聞や地域のイベントで気づくことができた。特に商業科など、地域への貢献をしっかりとすることに気が付いた。子供は、毎日楽しく高校生活を過ごすことができた。
北原 和明 (株式会社 北原商事)	学校評価のアンケートについて、全県の高校との違いは分からないか？迷う時期なので、2年生の12月の懇談会を全員やることはできないか？やっちゃえ！赤穂プロジェクトは、普通科の生徒もかかわっていて、地域に出ていく機会になり、良いと思う。
小林 紀充 (小町屋区区长)	地域では、大きな問題は聞いていない。昔と違い、神社などでのタバコ(喫煙)もなくなった。勉強にガッツリ取り組むのも大切だが、他の事で力を出す子もいる。生徒の力をうまく引き出して、活かすようにしてほしい。
宮脇 三広 (定時制振興会理事)	全日制での、授業中のスマホの使用はどうでしょうか？定時制では使用がみられました。 生活体験発表、平和ゼミナールなどの活動は大切なこと。 JICAの訓練所は日本に2つしかないうちのひとつが駒ヶ根にあり、JOCAは本部が駒ヶ根に来た。パイプを太くして、大いに活用して欲しい。全国で活躍している赤穂高校の卒業生もいるので、活用を。